

7日・音更でピンクシャツデー

【音更】いじめ反対運動の「ピンクシャツデー」とかちいんおとふけ（同実行委主催）が7日午後1時から、町総合福祉センターを会場に開かれる。同町では初開催。町内出身の高校生や町内小・中学校教諭らが実行委で企画・運営に当たっており、音更の地域色を前面に出した内容とする。実行委メンバーは、いじめ撲滅に向け、教育関係者だけでなく広く一般の参加を呼び掛けている。

ピンクシャツデーのイベント開催に向けて準備に当たる武田実行委員長（前列右）ら実行委メンバー



そろいの服着て いじめなくそう

実行委は、町内出身で星槎国際高校2年の武田侑輝人君（17）が実行委員長を務め、木野東小の鈴木美香教諭、音更中の千葉孝司教諭らで構成した。

当日のプログラムでは、中学生・高校生による劇、小学生も参加しての歌やダンス、鹿追町在住ポップスグループ「Mys（マイズ）」によるボランティアライブなどを予定。このうち演劇は

中・高生演劇やライブ

町内十勝川温泉のRキャラ「モ〜るちゃん」も出演。転校生の「モ〜るちゃん」がクラスに受け入れられる様子を描く。実行委の鈴木教諭は「同じ時間と空間を共有して、心のつながりを感じてほしい」とし、武田実行委員長は「みんな個性を認め合うことでいじめをなくしたい。一人でも多くの人に来場してもらえれば」と話している。（井上朋二）

「心のつながり感じて」

〈ピンクシャツデー〉カナダの学生が始めた運動。学校でピンクのポロシャツを着た男子生徒がからかわれていじめを受けた際、上級生がいじめをなくそうとピンクのシャツを購入して全員で一緒に着ると言う呼び掛け。学校中がピンクに染まり、以来、同校でのいじめがなくなったという。日本では2012年から運動が始まり、十勝管内では、昨年2月に帯広市でイベント初開催。その後、鹿追町（昨年10月）と手宮町（今年2月）でも開かれている。